

## クラウドファンディング

【第6弾】歌舞伎や映画、銀幕が伝えた記憶を宝箱で守る。

プロジェクトが成立いたしました！

ご支援・ご協力ありがとうございました！

【第6弾】 歌舞伎や映画、銀幕が伝えた記憶を宝箱で守る。



The screenshot shows a crowdfunding page on the 'Readyfor' platform. On the left, there is a photo of a row of wooden treasure chests with Japanese calligraphy on their spines. A red banner in the top left corner of the photo says '成立!!' (Project completed!!). On the right, the project details are listed:

支援総額	2,605,000円
目標金額	2,500,000円
支援者数	220人
残り日数	終了しました

Below the table, there is a red-bordered box with the text: 'プロジェクトが成立しました！ このプロジェクトは 2017年10月25日(水)23:00 に成立しました。' (Project completed! This project was completed on October 25, 2017 (Wed) 23:00).

9月5日より、クラウドファンディング「Readyfor」にて、平成29年度の図書館事業費及び所蔵する【映画スクリップ】のアーカイバル容器(保存箱)制作のための費用を募集しておりました【第6弾】歌舞伎や映画、銀幕が伝えた記憶を宝箱で守る。プロジェクトが、50日間のスポンサー募集期間を経て10月25日に終了いたしました。

おかげさまでプロジェクト6年目の今年は**220名**の方より、目標額250万円を上回る、**260万5千円**のご支援をいただき、プロジェクトが成立いたしました。温かなご支援を下された皆様、心強い応援コメントを送って下さった皆様、SNSや様々なメディアでご紹介下さった皆様、そしてチラシの配布にご協力下さった皆様、ご支援・ご協力下さいました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

皆様の、貴重な資料を後世に残したいという願いがこもったご支援とともに、当館が所蔵する貴重な資料をより長く利用していただけるよう、また末永く保存し未来に伝えていけるよう、今後も資料を守る環境を整えていきたいと思っております。

これからも、さらに役立つ専門図書館を目指しスタッフ一同、頑張っております。

プロジェクトの詳細は、下記のURLまたはQRコードをご覧ください

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan6>



■ 松竹系 10月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『極付印度伝 マハーバーラタ戦記』	○	○	○	○
	『杵手鳥孤城落月』	○	○		
	『漢人韓文手管始 唐人話』	○	○		
	『秋の色種』		○		
	河東節開曲三百年記念演奏会	○			
新橋演舞場	『ワンピース』	○		○	
松竹座 (大阪)	五耀會			○	
	三喬改メ七代目笑福亭松喬襲名披露公演			○	
	『AMADEUS 松本幸四郎 in アマデウス』			○	○
	『少年たち B o r n TOMORROW』	○		○	
日本特殊陶業市民会館 (名古屋顔見世)	『恋女房染分手綱 重の井』	○		○	○
	『番町皿屋敷』	○			
	『蜘蛛絲梓弦』	○			
	『春重四海波』	○			
	『恋飛脚大和往来 新口村』	○			
	『連獅子』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

あうるすぽっと	10月	『笑った分だけ、怖くなる vol. 2』	プログラム
赤坂RED/THEATER	9月	TAIYO MAGIC FILM『時分自問旅行』	プログラム
浅草九劇	10月	ペテカン『スプリング、ハズ、カム』	プログラム
NHKホール	10月	『第44回古典芸能鑑賞会』	プログラム、台本
大阪新歌舞伎座	9月	『福田こうへい特別公演』	プログラム
	10月	『前川清・中村美律子特別公演』	プログラム
大阪能楽会館	9月	『晴の会あべの歌舞伎番外公演』	プログラム
神奈川芸術劇場	9月	KAAT×PARCO『オーランドー』	プログラム
紀伊國屋サザンシアター	9月	劇団民藝『33の変奏曲』	プログラム、台本
	10月	劇団東演『検察官』	プログラム
紀伊國屋ホール	9月	青年劇場『アトリエ』	プログラム、台本
		CLIE『MUSICAL しゃばけ式 空のビードロ・畳紙』	プログラム
国立劇場小劇場	9月	『文楽公演』	プログラム、床本
		『映像と語り芸 幻燈機が生んだ芸能』	プログラム
国立劇場大劇場	9月	声明公演『声明と雅楽 莊嚴の調べ』	プログラム
	10月	歌舞伎公演『靈驗亀山鉾』	プログラム、台本
ザ・スズナリ	9月	ブルドッキングヘッドロック『田園にくちづけ』	プログラム
座・高円寺2	9月	糸あやつり人形一糸座『ゴーレム』	プログラム
シアターX	10月	劇団1980『素劇檜山節考』	プログラム、台本
シアタークリエ	9月	『ミッドナイト・イン・バリ 史上最悪の結婚前夜』	プログラム
シアターGロッソ	9月	CLIE『舞台 北斗の拳 世紀末ザコ伝説』	プログラム
シアタートラム	9月	シーエイティプロデュース『クライムズ・オブ・ザ・ハート 心の罪』	プログラム、台本
下北沢小劇場B1	10月	大森カンパニープロデュース『更地13』	プログラム
世田谷パブリックシアター	10月	兵庫県立ピッコロ劇団『かさぶた式部考』	プログラム
帝国劇場	9月	『JOHNNYS ' YOU&ME I s LAND』	プログラム
日生劇場	10月	ABC座『ジャニーズ伝説2017』	プログラム
俳優座劇場	9月	オペラシアターこんにゃく座『スマイル いつの日か、ひまわりのように』	プログラム

(新着資料案内 他社演劇公演資料 続き)

文学座アトリエ	9月	文学座アトリエの会『冒した者』台本
本多劇場	9月	加藤健一事務所『喝采』プログラム
三鷹市芸術文化センター星のホール	9月	日本のラジオ『カーテン』プログラム
	10月	牡丹茶房『Maria』プログラム
明治座	10月	『おんなの家』プログラム

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『おじいちゃん、死んじゃったって。』	○				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

『アナベル 死霊人形の誕生』	『エルネスト』	『ナラタージュ』
『パーフェクト・レボリューション』	『亜人』	『ハイキュー!! 才能とセンス』
『ハイキュー!! コンセプトの戦い』	『ドリーム』	『あさひなぐ』
『僕のワンダフル・ライフ』	『三度目の殺人』	『スキップ・トレース』
『エイリアン: コヴェナント』	『トリガール!』	『スクランブル』
『映画くまのがっこう パティシエ・ジャッキーとおひさまのスイーツ   映画ふうせんいぬティニー なんだかふしぎなきょうりゅうのくに!』	『スイス・アーミー・マン』	
『奥田民生になりたいボーイと出会う男すべて狂わせるガール』		
『DCスーパーヒーローズ vs 鷹の爪団』	『斉木楠雄のΨ難』	『ブレードランナー 2049』
『先生! …、好きになってもいいですか?』	『IT イット “それ”が見えたら、終わり。』	
『第30回東京国際映画祭公式プログラム』		

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2017年NOVEMBER	『演劇界』2017年12月号
『JPL』2017年Autumn No. 67	『演劇創造』2017年46号
『Petit-Critique』Vol. 30	『喝采』2018年2月
『into』2017年58号	『国立演芸場公演ガイド』平成29年11月号
『the座』2017年94号	『青年座』2015春号-2017秋号
『あぜくら』2017年10月号	『大向う』平成29年11月号
『おもだかニュース』518号-532号	『伝統文化新聞』2017年(137号)
『ぴあクラシック』2017 Autumn Vol. 44	『日本照明家協会誌』2017年10月号
『ほうおう』2017年8月号-12月号	『日本舞踊』69巻11月号
『シアターガイド』2017年12月号	『舞台芸術研究』2017年22号
『テアトロ』2017年11月号	『邦楽の友』平成29年11月号
『ラ・アルプ』2017年10月号, 11月号	

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2017年12月号	『シナリオ』2017年12月号
『NFCカレンダー』2017年11月号	『シナリオ教室』2017年11月号
『NFCニューズレター』2017年10月12月号	『シネ・フロント』2017年10月号
『SCREEN』2017年12月号	『ドラマ』2017年11月号
『TVガイド』2017年10/20号, 10/27号, 11/3号, 11/10号	『ピクトアップ』2017年12月号
『omoshii mag オモシイ・マガ』Vol. 11	『映画テレビ技術』2017年11月号
『おとなのデジタルTVナビ』2017年12月号	『映画時報』2017年10月号
『キネマ旬報』2017年11月上旬特別号, 11月下旬号, 増刊キネマ旬報NEXT Vol. 16, Vol. 17	『映画秘宝』2017年12月号
『ザ・テレビジョン』2017年10/20号, 10/27号, 11/3号, 11/10号	『衛星劇場プログラムガイド』2017年10月号, 11月号
	『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』No. 36
	『日経エンタテインメント!』2017年11月号
	『民間放送』2054号-2075号

■ 書 籍 ■

『不自由の幻想 藤原敏明作品集』	藤原敏明 (著)	風詠社
『東横歌舞伎の時代』	上村以和於 (著)	雄山閣
『歌舞伎 家と血と藝』	中川右介 (著)	講談社
『三代目扇雀を生きる』	中村扇雀 - 3世 (著)	論創社
『HAYATO 中村隼人 FIRST PHOTO BOOK』	中村隼人 - 1世 (著)	双葉社
『特攻隊映画の系譜学 敗戦日本の哀悼劇』	中村秀之 (著)	岩波書店
『カフカと映画』	ペーター＝アンドレ・アルト (著)、瀬川裕司 (訳)	白水社
『KOREAN CINEMA 2015』	Korean Film Council	
『最も危険なアメリカ映画 『国民の創生』から『バック・トゥ・ザ・フューチャー』まで』	町山智浩 (著) 集英社インターナショナル(発行)、集英社 (発売)	
『いつかギラギラする日 角川春樹の映画革命』	角川春樹+清水節 (著) 角川春樹事務所	
『SAVE THE CATの法則 本当に売れる脚本術』	ブレイク・スナイダー (著)、菊池淳子 (訳) フィルムアート社	
『神山健治Walker』	KADOKAWA	
『ひるね姫 知らないワタシの物語 公式ガイドブック』	ニュータイプ (編) KADOKAWA	
『奥さまは魔女』よ、永遠に』	ハービー・J. ピラト (著)、庄野勢津子+グローバル・インタレスト (訳) ワニマガジン社	
『晴れ姿！旅役者街道』	橋本正樹 (著)	現代書館

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2017年8月~9月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、日本映画テレビ技術協会、武藤康司、劇団四季、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、岩波ホール、黒澤明研究会会誌、公益社団法人日本演劇興行協会、株式会社日本舞踊社、博多座、文学座、小林竜太郎、国立劇場、演劇出版社、一般社団法人日本民間放送連盟、山口博哉、劇団民藝、東京都江戸東京博物館、キネマ旬報社、シアタークリエ、新国立劇場情報センター、国文学研究資料館、名取事務所、デアゴスティーニ・ジャパン、シアターオーブ、劇団青年座、株式会社東急文化村、四季株式会社、日本劇団協議会、株式会社カモミール社テアトロ編集部、ロングランプランニング株式会社、関西・歌舞伎を愛する会、伝統文化新聞、公益社団法人日本照明家協会、映画演劇文化協会、東京芸術座、ゴーチ・ブラザーズ、(株)近代映画社、神奈川県演劇連盟、M&O p l a y s、竹内志朗、老田直仁 (地かつら老田店主)、大坪由紀子、銀座百店会、東宝株式会社、おもだか会、日本映画撮影監督協会、邦楽の友社、法月敏彦、帝国劇場、神戸女子大学古典芸能研究センター、ミュージカル座、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、日本映画テレビプロデューサー協会、シナリオ・センター、前進座、日本ウニマ (国際人形劇連盟)、若林さだ吉、愛知芸術文化センター、宮本孝平、有限会社合同通信社、明治座、人形劇団ブーク、三越劇場、銀座 博品館劇場、川名和夫、こまつ座、丸善出版株式会社、坂入昌朝、作品社、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、世田谷文学館、日本近代文学館、社団法人日本演劇協会、博物館明治村、フィルムセンター、佐相勉、産経新聞出版、東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

どうもありがとうございました

## 第67回所蔵資料展示

### 「三船敏郎」展

2017年10月27日～12月26日／於 閲覧室

本年は、1997年12月24日に77歳で逝去した大スター、三船敏郎の没後20年にあたります。また、デビュー70周年という節目の年でもあります。

三船敏郎は1920年4月1日、中国・山東省青島に生まれました。父が写真館を営み、自身も手伝っていたことからその経験を買われ、戦時中は陸軍航空隊で航空写真を担当していました。終戦後、写真技術を生かすため東宝撮影所の撮影部の知り合いを頼って履歴書を出すも、第一期東宝ニューフェイス募集の面接を受けることになり、補欠で合格、俳優として採用されます。デビュー作は、1947年の『銀嶺の果て』（谷口千吉監督）で、主役3人のうちの1人に抜擢され、兵隊上がりの若いギャング役を荒々しい迫力で演じました。そして、『銀嶺の果て』の脚本を担当した黒澤明が1948年に撮った『酔いどれ天使』で、破滅の道を進む若いやくざ役を好演して一躍人気が高まり、この作品から1965年の『赤ひげ』まで16作の黒澤明監督作品に出演しています。『羅生門』（1950年）でヴェネチア国際映画祭の日本映画初の金獅子賞を受賞、また三船自身も『用心棒』（1961年）と『赤ひげ』（1965年）で二度のヴェネチア国際映画祭主演男優賞を受賞するなど、2人がコンビを組んだ作品は、国際的にも高く評価されました。

生涯で約150本の映画に出演した三船敏郎は、他の監督の作品にも多く出演しました。なかでも稲垣浩監督と組んだ作品のうち、『宮本武蔵』（1954年）で剣豪・宮本武蔵を熱演し、アカデミー賞外国語映画賞を受賞。『無法松の一生』（1958年）ではヴェネチア国際映画祭金獅子賞を受賞しています。この世界的な名声により、海外からの出演依頼も多く、1961年からは外国映画にも出演、リー・マーヴィンと三船が孤島で対峙する『太平洋の地獄』（1968年）、アラン・ドロン、チャールズ・ブロンソンと共演し、華麗な殺陣を披露した『レッド・サン』（1971年）などで主演しています。

1962年7月には、三船プロダクションを設立して映画製作に乗り出しており、作品としては石原裕次郎の石原プロモーションと共同で製作し大ヒットを記録した『黒部の太陽』（1968年）のほか、岡本喜八監督の『血と砂』（1965年）、小林正樹監督の『上意討ち 拝領妻始末』（1967年）などがあげられます。

また、山田洋次監督の“寅さん”シリーズ38作『男はつらいよ 知床慕情』（1987年）では、無骨な初老の男の恋を表現し、最後の出演作である熊井啓監督の『深い河』（1995年）では、つらい戦争経験を抱えながら生きる元軍人役で重厚な演技を見せています。

今回は日本のみならず、世界でも活躍した“世界のミフネ”三船敏郎の関連資料を展示いたします。

#### 【展示資料一覧】

##### 《展示ケース上段》

『酔いどれ天使』●スチール写真/1948年東宝/監督+脚本:黒澤明/脚本:植草圭之助/共演:志村喬,山本礼三郎,木暮実千代

『静かなる決闘』●スチール写真/1949年大映東京/監督+脚本:黒澤明/脚本:谷口千吉/原作:菊田一夫/共演:三條美紀,志村喬,千石規子

『石中先生行状記』●スチール写真/1950年新東宝+藤本プロ/監督:成瀬巳喜男/脚本:八木隆一郎/原作:石坂洋次郎/共演:宮田重雄,若山セツ子,飯田蝶子

『醜聞(スキャンダル)』●プレスシート/1950年松竹大船/監督+脚本:黒澤明/脚本:菊島隆三/共演:山口淑子,志村喬,桂木洋子

『羅生門』●シナリオ/1950年大映京都/監督+脚本:黒澤明/脚本:橋本忍/原作:芥川龍之介/脚本:菊島隆三/共演:京マチ子,志村喬,森雅之

『白痴』●スチール写真/1951年松竹大船/監督+脚本:黒澤明/脚本:久板栄二郎/原作:ドストエフスキー/脚本:菊島隆三/共演:原節子,森雅之,久我美子

『抱擁』●スチール写真/1953年東宝/監督:マキノ雅弘/脚本:西亀元貞+梅田晴夫/原案:八住利雄/共演:山口淑子,志村喬,小泉博

『太平洋の鷲』●スチール写真/1953年東宝/監督:本多猪四郎/脚本:橋本忍/共演:大河内傳次郎,二本柳寛,小林桂樹

『七人の侍』●プログラム/1954年東宝/監督+脚本:黒澤明/脚本:橋本忍,小国英雄/共演:志村喬,津島恵子,木村功

『宮本武蔵』●台本/1954年東宝/監督+脚色:稲垣浩/脚色:若尾徳平/原作:吉川英治/劇化:北条秀司/共演:三国連太郎,岡田茉莉子,八千草薫

『続宮本武蔵 一乗寺の決闘』●スチール写真/1955年東宝/監督+脚色:稲垣浩/脚色:若尾徳平/原作:吉川英治/劇化:北条秀司/共演:鶴田浩二,岡田茉莉子,八千草薫

##### 《展示ケース下段》

『蜘蛛巣城』●スクラップブック/1957年東宝/監督+脚本:黒澤明/脚本:小国英雄+橋本忍+菊島隆三/共演:山田五+鈴,志村喬,千秋実

『無法松の一生』●台本/1958年東宝/監督+脚色:稲垣浩/脚色:伊丹万作/原作:岩下俊作/共演:高峰秀子,芥川比呂志,笠智衆

『天国と地獄』●プログラム/1963年東宝+黒澤プロダクション/監督+脚色:黒澤明/脚色:小国英雄,菊島隆三,久板栄二郎/原作:エド・マクベイン/共演:香川京子,仲代達矢,山崎努

『赤ひげ』●シナリオ/1965年東宝+黒澤プロダクション/監督+脚色:黒澤明/脚色:井手雅人,小国英雄,菊島隆三/原作:山本周五郎/共演:加山雄三,山崎努,香川京子

『血と砂』●スチール写真/1965年東宝+三船プロダクション/監督+脚本:岡本喜八/脚本:佐治乾/共演:伊藤雄之助,佐藤允,天本英世

『上意討ち 拝領妻始末』●プログラム/1967年三船プロダクション+東宝/監督:小林正樹/脚色:橋本忍/原作:滝口康彦/共演:加藤剛,江原達怡,大塚道子

『太平洋の地獄』●スチール写真/1968年アメリカ/監督:ジョン・ブアマン/ストーリー:ルーベン・バーコヴィッチ/脚本:アレクサンダー・ジェイコブス,エリック・バーコヴィッチ,橋本忍/共演:リー・マーヴィン

『レッド・サン』●プログラム/1971年フランス/監督:テレンス・ヤング/脚本:レオ・コーニグ+ウィリアム・ロバーツ/共演:アラン・ドロン,チャールズ・ブロンソン

『男はつらいよ 知床慕情』●プログラム/1987年松竹映像/監督+脚本+原作:山田洋次/脚本:朝間義隆/共演:渥美清,倍賞千恵子,竹下景子



【関連資料紹介】  
昭和24年民友社発行の野良犬 黒沢明シナリオ集1(民友社シナリオ叢書)。野良犬は黒澤明監督、三船敏郎主演作。三船のデビュー作『跟蹤の果て』と『ジャコウと鉄』(1949年谷口千吉監督)のシナリオも掲載。『ジャコウと鉄』の脚本は谷口監督と黒澤の共同執筆で三船も出演。三船のデビュー作含む初期の出演作品が収録された貴重な資料。※こちらの資料は展示していませんのでカウンターにて請求ください。

## 中央区民カレッジ6【わがまちを知る】

### 「演劇・映画の専門図書館 松竹大谷図書館の取り組み」報告

平成 29 年 10 月 17 日

於：築地社会教育会館・4F 視聴覚室

発表者：武藤祥子

先月 10 月 17 日(火)に、当館から歩いて 5 分の築地社会教育会館で中央区民カレッジ6【わがまちを知る】「演劇・映画の専門図書館 松竹大谷図書館の取り組み」という講座が催された。中央区民カレッジとは、中央区が主催する生涯学習の場で、地域や歴史を学習する講座、調理やクラフトなどの実技講座、ボランティア養成講座など、様々な講座が用意され、区内在住・在勤・在学者であれば誰でも申し込む事が出来る。その中で 60 歳以上の方を対象としたシニアコースの第 6 回「わがまちを知る」というテーマの下に行われたのが今回の講座である。中央区にある当館の取り組みを紹介するという主旨で、当館の所蔵資料や利用方法、活動などについてお話ししてきた。会場は社会教育会館の広い視聴覚室で、前方に大きな机と展示用品をお借りして、所蔵資料の中から、歌舞伎『義経千本桜』と映画『男はつらいよ』の台本、プログラム、写真等を持参し、展示した。雨の中、40 人以上の方が出席して下さり、休憩時間も多くの方が前に来て展示資料を手にとってご覧になり、熱心なご質問も頂いた。近隣地域にお住まいの方に当館をご紹介できる大変良い機会であった。



講座中の様子



展示資料の説明



前方の出張展示コーナー

# 第19回図書館総合展

平成29年11月7日～11月9日  
於パシフィコ横浜  
武藤祥子

図書館総合展は、2017年で19回目を数える図書館関連では国内最大のイベントである。図書館運営者・関連業界が一堂に会し、読書・学習・研究環境についての最新技術と知見を深めるための最大かつ最良の機会となっている。今年は11月7日に横浜みなとみらいにある会場を訪ね、当館に関わりの深い(株)資料保存器材、(株)キハラのブース、当館も紹介して頂いた専門図書館紹介コーナーなどを見学した。

まず専門図書館紹介コーナー「こんなにあります！あなたも使える専門図書館」に向かった。昨年から開設されているこのコーナーでは、全国の特徴ある専門図書館が地域別にパネルで紹介され、手前には各館の紹介資料が置かれて自由に取る事が出来る。去年はちょうど目の前で当館のチラシが手に取られる瞬間を目撃したが、今年も当館の紹介パネルの前にいた女性二人の、「この松竹大谷図書館、行ってみたいくて」と嬉しい会話を耳にし、「ぜひお越しください！」と、心の中でお声を掛けた。

(株)資料保存器材のブースでは、手前に修理作業の現場が再現され、処置で実際に使われている道具などが展示されていた。また、当館のスクラップ用のアーカイバル容器でも内部に仕込んだり、一冊ずつスクラップを包んだりするのに使用予定の汚染ガス吸着シート「GasQ ガスキュウ®」の展示もあった。「GasQ ガスキュウ®」

によって保護された銀箔と、段ボールから発生する硫化物によって黒く変色した銀箔とを並べてその効果が視覚的に分かりやすい展示であった。

また、汚染ガス吸着シートの新商品として「新薄葉紙 Qlumin くるみん」が参考出品されていた。吸着効果は不織布の「GasQ ガスキュウ®」の方が高いが、より薄くしなやかなので、傷んだ箇所につまみ掛からないなど、資料を包んだ際、資料に対する負担が軽減されるとの事であった。その他にも、紙焼き写真やポジフィルムを保存するのに便利なバインダーや、フィルムが普及する前

に使われていたガラス乾板の保存箱など、資料保存の可能性を広げる様々なオーダーメイドのアーカイバル容器が展示されていて、滞在中、保存容器に対する意識の高い見学者が絶えなかった。

最後に老舗の図書館用品の会社キハラの物販コーナーに立ち寄った。ここでは、図書館で使用しているラベルシールや書架などのデザインの【図書館グッズ】が販売されており、買い求める人の列が長く出来ていた。ようやく自分の番となり、館内の展示に使用するブックスタンドと、スタッフへのお土産としてラベルや書架デザインのクリアファイルなどを購入した。

今回は滞在時間が1時間弱と短かったため、会場内を細かく回る事ができなかったが、そんな中でも自分の興味が向いているためかデジタル化と資料保存の企業のブースに目が行った。クラウドファンディングの支援により、当館もデジタル化と資料の保存に取り組む事ができるようになったが、まだ予算の問題もあり、すべての資料を良い状態にする事は難しい。しかしできれば常に新しい情報を仕入れて、何かしら一歩ずつでも実現できるという可能性を信じて活動している当館のような小さな図書館にとって、一つの会場で様々な知識を得られる図書館総合展のような場は大変ありがたい。この数か月準備に勤しんで下さったすべてのスタッフの方に感謝しつつ会場を後にした。



盛況の専門図書館紹介コーナー



配布コーナーの当館の案内チラシ



「新薄葉紙 Qlumin くるみん」



「GasQ ガスキュウ®」の展示



アーカイバルバインダー



ガラス乾板保存箱

## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実に永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2017（平成29）年10月にご支援いただきました

#### 法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

有限会社合同通信社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

まつや株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



素敵なお祝いのスイーツをいただきました！ありがとうございました！

## ■ 休館のお知らせ ■

創立記念日のため

平成29年11月22日（水）は

休館いたします

### ■ 編集後記 ■

▼巻頭でもお知らせしていますように、第6弾のクラウドファンディングプロジェクトが10月25日に無事成立しました！ご支援・ご協力、本当にありがとうございました！ご支援・ご協力、本当にありがとうございました。お祝いのお言葉もたくさん頂戴し、スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも松竹大谷図書館をよろしくお願いいたします。



- 利用案内 ●
  - 開館時間
    - 平日午前10時～午後5時
    - 休館日
      - 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間
  - ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびウェブサイトに掲示します。
- 交通案内 ●
  - 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
  - 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分
- 入館料 無料
  - 館内閲覧のみ

編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / Tel. 03-5550-1694

公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>